

新宮山彦ぐるーぶ第1902回

行仙宿で「医療法人やまびこ会・もはらクリニック」の道普請と懇親会及び奥駈道(行仙宿〜持経宿間)の巡視

◇実施日：平成28年10月15日(土)〜16日(日)

◇参加者：山上皓一郎、川島 功、沖崎吉信、生熊敏男・千満子、

橋本 梓、畑林清子、青木宏充、梶野照雄、栗原眞行。

医療法人やまびこ会関係者：茂原 治、茂原 仁、

平澤 研、正木勇治、皆川 光、灘 浩一、徳舛弘己、

川野陽平、南出昌紀、部谷大山、田中愛弓。

葛峰進龍山証巖坊；後藤証巖、川本進龍、戸田貴進。

青木氏の同行者：志岐 敬、山本直子。 計26名。

10月15日(土) 快晴後晴時々薄曇 17℃

医療法人やまびこ会 腎・循環器もはらクリニック(以後、医療法人やまびこ会と記載する)の関係者は、平成23年から年1〜2回、南奥駈道の道普請にご協力して頂いている。今回、一年半ぶりに14名が道普請にご参加下さった。

この内3名は、葛城28宿の行者さん(葛峰進龍山証巖坊兼NP〇葛城護持院)で、20年前から主に3名で毎月2〜3回、葛城28宿で修行・道整備をされ、一番良く知っていると自負される方々で、今回、茂原先生にお逢いしご同行を依頼し参加されたとの事。

新宮組は、先発(川島・生熊夫妻・畑林)と翌日の車回送を考慮し後発(沖崎、山上、橋本)に別れ、沖崎車は池原スポーツ公園で、梶野。栗原氏の2名を同乗させ、登山口に来ることになる。

先発組が登山口に8時15分に着くと、泉南市4時半に発たれた医療法人やまびこ会の車3台が到着し、荷を降ろしておられた。

医療法人やまびこ会から有難いことに多量の寄贈品(缶ビール12箱、野菜ジュース2箱、飲料水2箱、即席味噌汁200食、インスタントコーヒー2箱、6Lポリタン10個等)を頂き、各自

背負子に手分けして荷作りされ、新宮山彦ぐるーぶが荷を担ぐという精神と修行との事から、M機を使わず皆で担ぎ上げられる。新宮組は、M機を下し、ザックと24名分の食材を積み込み、生熊氏が運転し終点より無人で下し、始点で川島がエンジン停止した。その頃に、十津川村で前泊した大阪市内の2名の車が到着。最後に、茂原先生・茂原仁、平澤、川島が登る。



荷を担いだ医療法人やまびこ会の方々

川島は、M機終点でザック・食材を担ぐが、食材2梱包が残り後発の沖崎組に担ぎ上げて貰うことにする。

先行した荷の重い医療法人やまびこ会12名の内2名は、第1ベンチで追い抜いた以外先行して行仙宿へ。

先着した生熊千、畑林さんは、お湯を沸かしてコーヒーを入れて下さり小休止。

沖崎さん達6名は未着であるが、10時10分行者堂で葛城行者の後藤・川本・戸田さん導師で、峰中安全等の勤行。

勤行を終え、程なく沖崎車先頭の栗原、橋本氏が到着。

医療法人やまびこ会の皆さんは水汲みへ。ここ1週間雨が降っていないので、水が流れていなければ、登山口の水場へ行く事になると言って送り出す。後で判った事であるが、行者さん3名は、登山口水場へ水汲みに行かれた。

山上・生熊敏・川島は、コンクリート練り、薪作り・第二サコ土砂止め作業の道具を準備する。又、荘川桜金網柵内の除草。



行者堂で勤行

荘川桜金網柵内の草繁る

柵内の除草完了

水場への水汲みの方が、水を担いで戻られ、僅かな流れであったとのこと。又、青木氏は、顔見知りの志岐・山本さんを21世紀の森に迎えに行かれ、同行して行仙宿に登って来られた。医療法人やまびこ会は、早朝発であり、行者さん3名は水場から戻られていないが11時半前から昼食。

行者さん達は、12時前に水汲みから戻られる。

昼食後、休憩・夕食準備は、山上、畑林・生熊千・田中・山本。東側犬走り再舗装班は、生熊、平澤、皆川、徳舛、川野、志岐。



犬走り再舗装班

コンクリート練り

犬走り舗装完了!

旧通信道(鉄塔巡視路)補修班は、青木、梶野、栗原。第二サコ土砂止め班は、川島、松原仁、正木、南出、灘。



サコ土砂止め班

下部土石止め 枕木積み

杭と横枕木の番線



上部土砂止め作業

間伐材の薪材を道まで引上げと薪作りは、沖崎、橋本、茂原治、部谷、後藤・川本、戸田。
第二サコ土砂止め班は、14時前に作業が終了しコーヒィで休憩後、犬走り舗装班と薪作り班に加勢する。犬走り舗装班は、15時半前に作業が終了し、初心者は薪割り体験へ。
女性は、5名宿泊する事になり管理棟へ移る。

笠捨山捲き道(旧逋信道・鉄塔巡視路)の補修班

ネットの投稿で、笠捨山捲き道の登山道が流失しているのが判り、補修すべく、シヨベルとノコ、土のう袋10枚を持って、3人(青木・梶野・栗原)で12時05分現場へ向かった。

捲き道には、落ちている枯れ枝多数、垂れ下がった蔓を2カ所で切除。途中、今春に補修した箇所には、新しい掘り返した跡が多数みられ、熊の目撃情報もあったので、イノシシではなく熊が掘り返したものと思われる。

12時50分鉄塔先のベンチで休憩して、13時25分に撒き道登山道流出現場に着いた。



掘り返された跡



流出現場に到着



90cm程えぐれている

流出箇所は、葛川辻まであと少しのところ、過去にも補修した場所だ。涸れ沢上部から土石が流れ落ち、土止めの栈木が8m下方に杭共に流されていた。残された登山道との落差は90cmにもなっていた。

流された栈木と鉄杭を拾い上げ、段差の手前にバイパスを作ることにした。ハンマーは用意していなかったため、シヨベルで杭を打ち込む。シヨベルでも深く打ち込めたので、地盤は相当柔らかい。栈木を水平に敷いて、その上に土のうを並べた。

バイパス造りは30分で終了、しばらく休憩して14時小屋へ。



拾い上げた栈木



土のうを並べて完成



青木さんの提案で、苔むした石積がある地点を奥駈道へと登る、倒木や不安定な箇所もあるが、斜度があまりきつくないので5分程で奥駈道の尾根に出た。

奥駈道をしばらく北上すると倒木が通せんぼしていた。折れていたのものでノコで簡単に切除。2人がかりで谷側に排除した。

八大金剛童子南のピーク付近で、張り出したアセビを切除、捲き道分岐で休憩する。薪割りの歓声が聞こえていた。15時40分行仙宿に戻る。



石積を辿り奥駈道へ



折れた倒木切除





行者さんも薪作り

薪割り始めての人を指導・体験見守り

ソプラノ歌手？

山の唄合唱

行者さんも

旧通信道補修班が15時40頃に戻り、全員作業を終える。
道具類を片付け、適宜着替えをして、16時05分から夕食(豚肉・鶏肉の水炊きと鮪刺身+イカ一夜干し+さんま寿司)の懇親会。
川島世話人挨拶後、茂原先生の挨拶・乾杯で開宴となる。

沖崎事務局の明日の予定等の説明後、新たに女性客2名の同宿者(神奈川県の高嶋・濱部さん)も同席し28名の自己紹介となる。
宴たけなわとなり、山の唄、得意な出し物、新客も加わり20時頃に終え、毛布を敷き寝る場所を確保して、ストーブを囲んで歓談・酒宴。賄い方の女性陣は、食器洗い片付けでご苦勞様です。



茂原先生乾杯挨拶

雀の学校始まる

行動タイム

新宮6:50→8:15補給路登山口8:50→9:50行仙宿→10:10勤行→水汲み等→11:25 昼食 12:05→作業(休憩)15:50→16:05 懇親会 20:00→22:00 消灯。

10月16日(日) 曇り時々薄日、やや風が強い 14℃

6時起床、朝食は御飯か水炊き雑炊あるいは茶粥に味噌汁、焼魚(鰻+さんま味醂干し+鰯丸干し)、漬物の定番食である。

医療法人やまびこ会は、栗原氏案内役に行仙宿から持経宿間の奥駈道(台風通過後)の点検巡視である。

昼食の缶パン2個、みかん、飲料水を各自持って歩いて貰うが、重いものは山彦が車で運ぶと言ったが、全て担いで歩かれる。

7時30から峰中安全の祈願勤行後、全員で記念撮影。7時50分行仙宿の立出で「持経宿で待っているよ！」と見送る。

縦走班に無線機を渡し、時々交信する事にした。

医療法人やまびこ会立出後、朝食後の後片付けと室内清掃を行う。山上、川島、沖崎、生熊夫妻、橋本、畑林、梶野氏は、空プロバングスボンベ+缶ビール5箱分の空缶+空酒瓶+プラスチック

等のゴミを持って、9時過ぎに下山。



勤行後記念撮影



出立準備



行仙宿・元気に出立

青木、志岐、山本さんは、11時頃下山して、医療法人やまびこ会のエステマ車を池原スポーツ公園へ回送して待機して貰う。

荷を始点で降ろした無人のM機を上げたが、M駐機場で待機した沖崎氏は一寸した手違いからM機を停止出来ず、終点まで登りM機を駐機場に戻す事になり時間ロスした。

沖崎車、川島車と医療法人やまびこ会のデリカ車は梶野氏、シビック車は橋本氏、カローラ車は生熊氏が運転し、10時過ぎに登山口を出発し、白谷林道から持経宿へ。

10日に下見した際は、工事中通行止の標識があつたそうだが、通行止標識が撤去されていたので、多少の不安もあるが走行する。約8・5km地点に真新しい側溝の上に格子蓋があり無事通過、

この前後は走行されていないので路面が荒れていたが、11時頃に持経宿着。この間、縦走班と何度か交信し、通過地点等を確認。持経宿到着後の現在地は、平治宿と持経宿の中間辺りとのこと、千年檜通過時には連絡する旨を交信。

梶野氏が洗濯したマットは、持経宿内の床に敷き、お湯を沸かし昼食準備を進める一方、山上さんは不動堂での勤行準備を下さる。

11時半過ぎに千年檜通過の交信を受信。程なく、倒木処理等も無く予定より早く、元気に？全員無事に持経宿に到着。

早速、無事踏破の勤行をする、葛城28宿の行者さんの勤行は、これまでと少し異なるが。いずれも厳粛に行われ本当に感動した。



持経宿に到着



不動堂で勤行



各自缶パン+朝食御飯のおにぎり(15個)+昨日の茂原さん差し入れパン+コーヒード昼食。

持経宿改築後、初めての方が多く、一新した山小屋に見違えるぐらい良くなったと言つて下さる。

行仙宿を12時50分に下山。沖崎車は路面の石等撤去と林道ゲートを開けるため先行。

川島車が三叉路で車が揃うまでしばらく待つが、2台が来ない。生熊千さんが持経宿前に行くのと車が無いとのこと。

小屋下に在った車に、少し下った所で転回して来る様に言ったが、かん違いして水場林道へと走行した様だ。川島車が引返すと小屋前林道で平澤車と合流、水場の林道へと走行したので、平澤車が追い着き、引き返すというハプニングがある。

先行した沖崎さん達は、遅いのでどうしたのかと・・・。林道ゲート前で全車が揃う。途中、石ヤ塔展望台でしばらく停

車し眺望して頂く。中国桂林の様だとか・・・。
池原スポーツ公園に無事到着して、待機した青木氏と合流し、
今行事の終礼を行い解散とする。

医療法人やまびこ会は、「きなり湯」で入浴後帰阪とのこと。
行者さん達は、別途立寄る所があり此処でやまびこ会と別れる。

- ・椎木 堯：大吟醸4号瓶2本。
- ・山上皓一郎；みかん10kg。
- ・川島 功；吟醸酒・立山十熊本産焼酎4合瓶2本。
- ・生熊敏男；さんま寿司10本。
- ・畑清子；カセットコンロ1台+米5kg。

(記 川島)



持経宿にて



石ヤ塔展望台にて



池原スポーツ公園終礼

行動タイム

起床 6:00→6:40 朝食 7:10→7:30 勤行→行仙宿 出発 7:50→11:45
持経宿。(奥駈道巡視班)
行仙宿 9:05→9:40 登山口 10:05→10:25 白谷林道ゲート→11:00
持経宿→11:55 昼食 12:30→持経宿 12:50→13:20 石ヤ塔展望台→
13:40 池原スポーツ公園(解散) 13:50→15:00 帰新。

寄贈品

- ・医療法人やまびこ会・缶ビール(24缶)12箱+野菜ジュース(24本)2箱+飲料水(500ml)24本)2箱+即席味噌汁200食+インスタントコーヒー2箱+6Lポリタンク10個+ボールペン10本+タオル約50枚。
- ・葛峰進龍山証蔵坊：行者堂お供え(金一封：1万円)